

令和元年度第1回岩手県私立学校審議会議事録

日時 令和元年9月27日(金)

10:00~10:25

場所 エスポワールいわて 1階小会議室

令和元年度第1回岩手県私立学校審議会

1 開催日時 令和元年9月27日(金) 10:00~10:25

2 開催場所 エスポワールいわて 1階小会議室

3 出席者

[私立学校審議会委員]

菅野洋樹 会長 及川 求 委員 室井麗子 委員

今西界雄 委員 鷹觜文昭 委員 須山通治 委員

高橋勝徳 委員

[県]

白水政策地域部長 小野副部長兼政策推進室長

工藤学事振興課総括課長 本多学事企画担当課長

戸塚主査 菊池主事 高橋希望主事

4 欠席者

西川温子 委員 福士晴美 委員 三上邦彦 委員

5 署名委員

鷹觜文昭 委員 須山通治 委員

6 会議の状況

別紙のとおり。

1 開 会

○本多学事企画担当課長

ただいまから、令和元年度第1回私立学校審議会を開催いたします。

私は、学事企画担当課長の本多と申します。どうぞよろしく願いいたします。

議事に入るまでの間、暫時進行役を務めさせていただきます。

2 出席者の確認

○本多学事企画担当課長

本日の委員の出席状況について御報告いたします。

本日は、西川委員、福士委員、三上委員が欠席されております。委員10名中、7名に御出席いただいておりますので、岩手県私立学校審議会運営規程第5条により定足数に達しており、本日の会議が成立いたしておりますことを御報告申し上げます。

それでは、白水政策地域部長から御挨拶申し上げます。

3 挨 拶

○白水政策地域部長

みなさん改めましておはようございます。

令和元年度第1回岩手県私立学校審議会の開催にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

まず始めに自己紹介をさせていただきたいと思いますが、今年度から県の組織改編に伴いまして私立学校に関する事務を所管することになりました、政策地域部の部長をさせていただいております白水と申します。どうぞよろしく願いいたします。

また、本年5月末日をもちまして酒井委員が御退任されたことに伴いまして、新たに及川求委員に本審議会委員への御就任をお願いいたしましたところ、御快諾をいただきましたことに対しまして、心からお礼を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、日頃から、本県の私学振興に御支援、御尽力をいただいておりますことに対しまして、深く敬意を表します。ありがとうございます。

さて、皆さま御承知のとおりでございますが、東日本大震災津波の発災から8年半が経過いたしました。県におきましては、本年3月に県の最上位の総合計画である、新たな「いわて県民計画」、これは2019年から2028年を対象とする10年間の計画であります。これを策定したところでございます。

この計画では、基本目標として、東日本大震災津波からの復興に取り組むとともに、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」という目標を掲げ、その実現に向けて様々な施策を進めていこうとするものでございます。

その中で、特に教育関係では、政策推進の柱となる50の政策項目の一つとして、新たに「多様なニーズに応じた特色ある私学教育の充実」を掲げております。各私立学校における建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援など、私学教育の充実に取り組んで参りたいと考えております。

また、県といたしましては、この計画に基づき各種私学助成や就学支援制度等を通じて、未来を担う

子ども達の教育環境の整備に努めていきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、引き続き、本県の私学振興に対しまして御支援と御協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日は、学校法人岩手医科大学が設置しております、岩手医科大学医療専門学校の目的変更認可につきまして御審議いただくこととしております。専門的、大局的見地から御意見、御審議を賜りますようお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 委員紹介

○本多学事企画担当課長

続きまして、酒井委員が5月31日をもって退任されたことに伴いまして、委員に異動がございました。

また、本審議会の所管が総務部から政策地域部となって初めての審議会でもありますので、私の方から新委員と政策地域部の職員を御紹介申し上げます。

8月1日付けで、新たに本審議会委員として御就任いただきました委員を御紹介させていただきます。及川求委員でございます。

次に、事務局職員を紹介いたします。

ただいま御挨拶申し上げました、白水伸英政策地域部長でございます。

小野博副部長兼政策推進室長でございます。

工藤直樹学事振興課総括課長でございます。

戸塚教仁主査でございます。

菊池冴美主事でございます。

高橋希望主事でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

なお、白水政策地域部長につきましては、業務の都合のため、ここで退席させていただきます。

それでは、議事に入りたいと存じますが、議事の進行につきましては、審議会運営規程第3条第1項の規定によりまして、菅野会長にお願いいたします。

5 議 事

(1) 議事録署名委員の指名

○菅野会長

どうぞよろしくお願い申し上げます。

早速ではございますが、最初に議事録の署名委員を指名させていただきたいと存じます。恐縮ですが、私の方から御指名させていただきます。議席番号5番の鷹觜委員と議席番号9番の須山委員にお願い申し上げます。

(2) 会議の公開

○菅野会長

次に、当審議会の会議の公開についてお諮り申し上げたいと思います。

御案内のとおり、当審議会につきましては通例により公開いたしておりますが、県の審議会等の会議の公開に関する指針により、原則、公開することとされているところでございます。一方、特別な場合については非公開とすることができるとされているところでございますが、当審議会の審議内容につきましては、県が定める基準上、非公開の事由に該当しないものと考えられますので、御承認をいただければ会議を公開することとして進めさせていただきたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○菅野会長

ありがとうございます。御異議がないようですので、公開させていただきたいと存じます。

また、本日の会議記録及び資料につきましては、別途、県の定めた指針によりまして、後日、ホームページ等により公開されることとされておりますので合わせてよろしく願い申し上げます。

(3) 諮問事項の審議

議案第1号 専修学校の目的変更認可について

学校法人岩手医科大学 岩手医科大学医療専門学校（盛岡市）

○菅野会長

続きまして、諮問事項の審議に入らせていただきます。議案第1号の専修学校の目的変更認可について議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。

○工藤学事振興課総括課長

私の方から議案第1号について説明いたします。審議会資料の3ページをお開き願います。

議案第1号は、専修学校の目的の変更認可についてでございます。

目的変更認可申請の概要は、学校法人岩手医科大学が設置いたします岩手医科大学医療専門学校におきまして、医療専門課程の歯科技工学科を来年3月末で廃止することに伴いまして、来年4月からは、同校の学則に定める学校の目的から、歯科技工士の養成及び同学科に係る記述を削除しようとするものでございます。

なお、廃止予定の歯科技工学科につきましては、修学年限が2年ではありますが、今年4月に入学生の募集を停止しておりまして、在学生がいなくなる今年度末をもって、学科の廃止を行う予定とするものであります。

以上のような内容でありまして、県といたしましては、この目的変更認可については、認可相当と考えるものでございます。

説明は以上でございます。よろしく御審議を賜りますようお願いいたします。

○菅野会長

ただいま事務局から説明いただきましたが、説明等に対しまして御質問、御意見等があればお願い申し上げます。

○高橋委員

質問というより確認ですが、今回の廃止は学生の募集が思うように進まないということが理由と考えてよろしいでしょうか。

○工藤学事振興課総括課長

廃止の理由について、当該法人からは、入学生が減少し定員割れが続いているためと聞いております。

○高橋委員

今年度末で廃止とのことですが、現在の学生数がどの程度いらっしゃるのか分かれれば教えていただきたいと思います。

○工藤学事振興課総括課長

現在、定員が50人のところ、1学年の募集を停止したこともあり1学年のみ7人となっております。

○須山委員

この審議会として、この議案に対し同意するかしないか、何を基準に判断すればよいかについて、審議会の同意が必要だということは、法令上の根拠があるようですけれども、要件等については法的な根拠が無く、我々委員が事情を聞き、特に不当性がなければ同意するという大雑把なことよろしいでしょうか。

○工藤学事振興課総括課長

専修学校の学科の設置については、法令あるいは文部科学省令等の基準が示されているところであり、配布させていただいた参考資料の29ページに専修学校の設置基準がございます。ここに記載のとおり、法令で定めるもののほか、文部科学省令で専修学校の設置基準を定めておりますが、学科につきましては、この第3条において、「基本組織には専攻により1または2以上の学科を置く」とされております。今回の案件につきましては、専門課程の中でこれまで2つの学科がありましたが、今回、1学科を廃止しても本条に違反することにはならないことや、「学科については適当な規模及び内容があると認められるものでなければならない」といったような基準が示されているのみでありますことから、各委員のそれぞれの観点から、適当かどうか御判断いただくことになるものと考えております。

○須山委員

実質的なことについてお聞きしますが、歯科技工士の需要は日本全体として減っているのか、あるいは岩手県の事情として、歯科技工士を志望する人が東京に集中するなどにより相対的に減っていることから学科を廃止するという事なのか、分かる範囲で教えていただければと思います。

○工藤学事振興課総括課長

歯科技工士が就職する歯科技工所の数につきまして、全国、本県ともに横ばいであると聞いています。東北の中の歯科技工士養成施設については、入学生が減少しているようでありまして、例えば宮城県には歯科技工士を養成する学校が3校ありますが、そのうち1校については、令和2年に生徒募集を停止すると聞いております。

また、人口10万人当たりの歯科技工士数では、全国平均27.3人に対し、本県では43人と既に多い状況にあるようでございます。

○菅野会長

他になければ、次に、先ほど事務局から、この目的変更認可について認可相当と考える旨の説明があったところですが、この案件に対し御意見があればお願い申し上げます。

○菅野会長

既に募集も停止されているということもあるようでございますし、在籍されている学生は本年度3月末をもって御卒業の見込みとのことですので、特に御異論がなければ、改めてお諮り申し上げたいと存じます。

議案第1号については、原案どおり認可を相当とする旨、答申することとしてよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○菅野会長

それでは、御異議がないようですので、議案第1号の専修学校の目的変更認可については、認可を相当とする旨、答申することとさせていただきます。

(4) 報告事項

○菅野会長

以上で審議事項は終了いたしまして、次に、次第5の報告事項に入らせていただきます。

報告事項(1)平成30年度第2回私立学校審議会答申に係る認可事項について、事務局から報告をお願いいたします。

○工藤学事振興課総括課長

お手元の報告事項資料の1ページをお開き願いたいと思います。

報告事項1は、平成30年度第2回私立学校審議会答申に係る認可事項についてでございます。

この資料にありますとおり、本年3月に開催した審議会において御審議いただきました、幼保連携型認定子ども園に移行するための幼稚園の廃止認可についてでございますけれども、御答申いただきましたとおり、平成31年3月31日付で花巻みなみ幼稚園及び姉体幼稚園の廃止の認可をしたところでございます。

また、専修学校の廃止認可につきましても、御答申いただきましたとおり、平成31年3月31日付で、

盛岡電子商業専門学校の廃止の認可をしたところでございますので、ご報告申し上げます。

○菅野会長

ただいま報告いただきましたが、ただいまの事項につきまして御質問等ございますでしょうか。
特になければ、次に入らせていただきます。

続きまして報告事項2の令和元年度北海道・東北・新潟県私立学校審議会協議会の概要について事務局から御報告をお願いいたします。

○工藤学事振興課総括課長

お手元の報告事項資料の2ページをお開き願います。

報告事項2は、令和元年度北海道・東北・新潟県私立学校審議会協議会の概要についてでございます。

今年8月29日に福島市において、この協議会が開催されまして、菅野会長に御出席いただいたところでございます。

協議会での議題は、資料の4議題(1)に書いてございますが、各道県から提出された8つの議題につきまして、各道県の状況や考え方などの説明、意見交換が行われております。

また、議題(2)では、来月、佐賀県で開催されます、全国私立学校審議会連合会総会に提出する議題について取り上げられまして、各道県から提出された議題の中から、アの「休校及び休眠法人への対応について」を提出するというように決定されております。

議題(3)の次期開催県につきましては、これまでの順番によりまして、次は山形県の開催ということに決定されたところでございます。

なお、現在、当審議会の菅野会長に、北海道・東北・新潟県私立学校審議会協議会の会長に御就任いただいておりますが、これにつきましては、輪番制で2年ごとに道県の持ち回りとなっておりますけれども、岩手県の担当は今年度が2年目となりますので、来年度と再来年度は、順番によりまして宮城県が担当するというようにされておりますので、合わせて御報告いたします。

報告については、以上でございます。

○菅野会長

ただいまの報告につきまして、御質問等ございましたらお願い申し上げます。

6 その他

○菅野会長

次に、次第6のその他についてでございますが、事務局から何かございますでしょうか。

○本多学事企画担当課長

冒頭、部長から御挨拶させていただきましたとおり、いわて県民計画の策定にあたりましては皆様からも様々御意見を頂戴し大変ありがとうございました。冊子について本日配布させていただく予定としておりましたが、量が多いことから日を改めて郵送により送付させていただきます。是非、参考にして

いただきまして、引き続き私学振興について皆さまから御指導、御鞭撻をいただければと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

○菅野会長

折角の機会ですので委員の皆様から何かございませんか。

7 閉 会

○菅野会長

それでは以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。御協力いただきまして大変ありがとうございました。